小学校(高学年)における実践②(９月)

「仲間の誘い方」(ソーシャルスキルトレーニング)

○　本時のねらい

仲間を誘うことの意義や大切さを理解し、友達を遊びや活動に誘うスキルを高めさせる。

○　展開（45 分）

学　習　活　動	教師の働き掛け	準備物
１　本時のめあてを知る。 友だちがうれしくなるような誘い方の練習をしよう。 【３つの約束】 ・ひやかさない。 ・はずかしがらない。 ・よいところを見付ける。	・楽しく話をしている子どもたちと一人でいる子どもの絵を提示し、一人でいるときの気持ちを思い起こさせ、仲間を誘うことの大切さに気付かせる。 ・実際に行動できるようになるには約束を守り、練習することが大切であることを伝える。	挿絵 約束を表示した紙
２　モデリングを見て、誘い方のポイントを知る。 【モデリング】 Ⅰ　素っ気なく誘う。 Ⅱ　ポイントを使って誘う。 【誘い方のポイント】 ・相手に近付く。 ・相手の顔を見る。 ・相手に聞こえる声で誘う。 ・笑顔で誘う。	・担任に相手役を頼んでおく。 ・モデリングは、ポイントが分かりやすいように、違いをはっきりさせて演じる。 ・モデリング後、どんなところがよかったのか、気付きを出させながら、誘い方のポイントを押さえる。	ポイントを表示した紙
３　誘い方のポイントに気を付けながら練習①をする。 	・４人グループを作らせ、それぞれの役割について説明する。 「誘う役」　１人 「誘われる役」１人 「誘う役と一緒に話す役」１人 「見守る役」　１人 ・「見守る役」は「誘う役」が誘い方のポイントを使っていたかどうかに目を向けるようにする。 ・役割は交代して、全ての役割をすることや「誘う役」の人のよかったところを１回ずつ確認することを押さえる。	役割の順番を示したカード

4　練習①を振り返り、話し合う。 	・誘い方のポイントができたか、振り返りシートに書かせる。 ・練習しての感想を発表させる。 ・「誘われる役」の表情が笑顔で嬉しそうだったなど、誘われる側の様子や気持ちも発表させる。 ・身振りや手振り、誘う言葉などポイント以外の点で工夫している児童を全体に紹介する。 ・練習②で頑張りたいポイントに印を付けさせる。 ・新しくポイントを加えてもよいことを知らせる。	振り返りシート
5　誘い方のポイントに気を付けながら、練習②をする。	・いろいろな場面を提示し、挑戦してもよいことを知らせる。 ・ポイントを意識しながら取り組んでいる児童を賞賛する。	
6　練習②を振り返る。	・誘い方のポイントができたか、振り返りシートに書かせる。 ・練習①と比べての感想などを発表させる。	
7　学習のまとめをする。	・「誘い方の４つのポイント」を意識させながら、振り返りシートを使って自己評価させる。 ・スキルの獲得と定着を目指して、チャレンジ週間を設けることを伝え、説明する。	

○　振り返りシートより

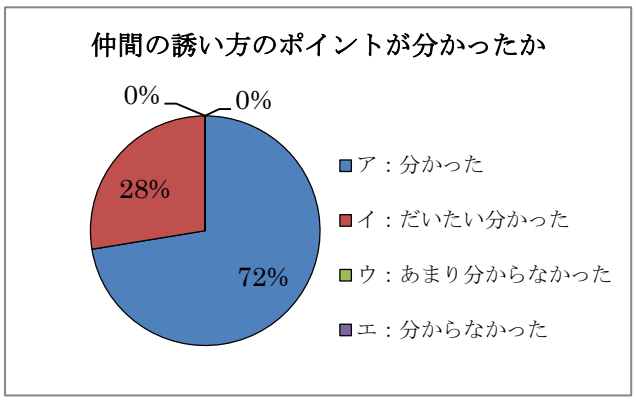

図５－イ－１　授業後のアンケート結果

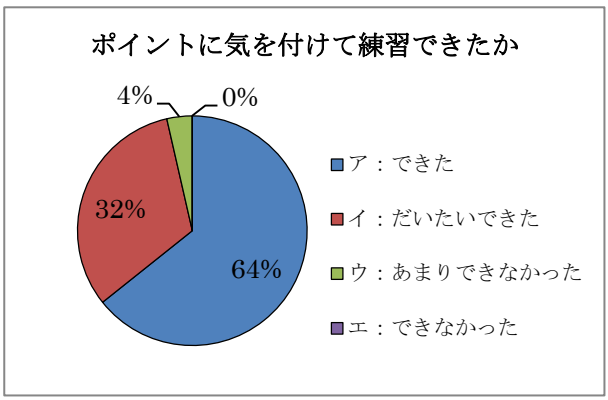

図５－イ－２　授業後のアンケート結果

＜活動の感想＞

・誘う役をしたとき、ちょっと緊張したけど誘われる側になったら、とても嬉しかったです。
・誘い方のポイントどおりに友達を誘うことができた。これからは誘い方のポイントを使っていきたいなと思いました。
・今日は、誘い方のことを勉強しました。ポイントがいっぱいありました。友達をいっぱいつくれるように家でも練習したいと思いました。
・仲間の誘い方のポイントが分かってよかった。ちょっと仲間を誘うのが苦手だったので、こういうふうにしてさそえばいいんだなと思いました。
・相手に近付くなどのポイントは、いつも使えるようになったら、みんな笑顔になると思いました。この学習は、これからにつなげていきたいなと思いました。
・私は、いつも相手の顔を見ないで言っていたので、今日は笑顔で、相手の顔を見て言えたのでよかった。これからも自分から話し掛けたりしたいなと思った。
・誘い方によって、気持ちが変わったので、これからの生活に役立てていきたいです。
・友達を誘うときに笑顔で誘うことができたので、今日の授業を生かして友達を誘っていきたい。
・今日は誘い方のポイントが全部できてとてもよかったです。１回目は顔を見ることができなかったけど、２回目はできてよかったです。
・仲間の誘い方が分かったのでよかった。４つのポイントに気を付けて、みんなを誘おうと思った。
・練習なのにみんな上手にできていました。これからは相手の目線に合わせて誘っていきたいです。
・今日は、友達と一緒に仲良く楽しくできてよかったです。これから今日学んだことを生かしていきたいなと思います。
・相手が喜ぶ誘い方をするのは、とても難しかった。もっと笑顔で誘いたい。今後の学校生活に生かしていきたいです。

○　実践を振り返って

【集団について】

・児童はこれまでに「１２の基本スキル」の中の「あいさつ」「上手な聴き方」は担任と学習しており、ソーシャルスキルトレーニングの学習の流れには慣れていたのでスムーズに授業に入ることができた。
・今回の「仲間の誘い方」には４つのポイントがあったが、どのグループもポイントを意識しながら練習に取り組むことができていた。
・和やかな雰囲気の中で活動できており、練習後は、友達のよくできていたところを伝え合うことができていた。
・数名の児童は、恥ずかしそうに練習していたので、机間指導を心掛けた。
・授業後、チャレンジ週間を設定した。全員が友達を様々な場面で誘うことができていた。チャレンジ週間を振り返っての感想に「人を誘うのが上手になったように思います。これからも４つのポイントを使って、誘い名人になっていきたいです」というのがあった。

【個人について】

・Ｃは「誰かが一人のときに、誘い方のポイントを生かしたいなと思いました。誘い方の練習は楽しかったです」と活動の感想を書いていた。４つのポイントを意識しながら練習ができていた。グループの友達からよくできていたところをほめられると笑顔を見せ、チャレンジ週間にも意欲的に取り組むことができ、たくさんの友達を誘うことができていた。